

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 10月 16日 (18:00~19:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 14名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	10人	1人	0人	14人

前回の改善計画	・初回、2回目、3回目の入力責任者(確認者)を決め、情報の抜けがないか確認し、抜けていた場合は担当した職員に声かけし入力してもらう。記録したものは印刷し、各自確認した上で業務に入る。
前回の改善計画に対する取組み結果	新規利用者の情報を入力する責任者を決めたことにより、情報の抜けが減り、申し送りがスムーズになった。新規利用者との関わりも増え、早く馴染んでもらえるようになった。しかし、責任者が不在の時、他職員への引継ぎが上手く行かないことがあったので責任者は必ず、不在の際のフォローを他職員に依頼する必要があった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5人	8人	1人	0人	14人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4人	9人	1人	0人	14人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	7人	7人	0人	0人	14人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4人	9人	1人	0人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・自発的な発言が少ない利用者や利用者同士のコミュニケーション量の少ない方に対して意識して声かけするようにしている。 ・新規利用者と会話しながら必要な情報を聞いたり新しいケアの方法を皆で共有したりすることができた。最初の情報とは異なる事もあったが、ケースや申し送りで確認出来た。 ・初回利用の情報をケース入力し、申し送りなどで共有し情報収集する事ができた。 ・入力や確認の責任者の取り決めは4月のユニット会議で明確にし、新規利用者受け入れ時に実行することができた。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・記録や報告書、ケース申し送りなどの把握が不十分、口頭による伝達が主になってしまった。 ・ケースや申し送りを午後の時間で確認する時もあり、情報を得るのが遅くなってしまった。 ・初回利用の様子はケース入力後に印刷されているが2回目、3回目は印刷忘れがあった。 ・積極的に話しかけながら新規の方の情報を得ることを一人ひとりが心掛ける必要がある。確認担当者以外の職員も「自分がやる!」という意識に差がある ・新規利用者も職員の顔と名前を覚えようとしてくださるが、分かりづらいのではと感じる。もう少し対応を検討必要と思う。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
はじめの関わりについて、担当者を決め、馴染みの関係を早期に構築し利用者が安心できるようにするとともに、本人の情報を職員間で共有できるようにする。担当者が不在の際に副担当者に申し送り、情報に抜けがないようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年10月16日(18:00~19:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 14名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	12人	1人	0人	14人
前回の改善計画		・「～したい」の実現について、一人ひとりに関わる強化月間を設け、情報を集め年間で振り分けし、実現につなげていく。				
前回の改善計画に対する取組み結果		本人の要望に関して、行事や個別支援として取り組み事ができた。職員間での意識の違いがあり、積極的に取り組めない所もあった。				

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0人	12人	2人	0人	14人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1人	12人	1人	0人	14人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1人	10人	3人	0人	14人
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	5人	8人	1人	0人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・本人の要望ややりたいこと「買い物」「お墓参り」「外食」「ドライブ」「馴染みの美容院」等個別で支援を行うことができた。 ・送迎の途中に買い物したい、〇〇に行きたいと希望があった時は柔軟に対応している。 ・誕生会のおやつを選ぶ時、ご本人の好みに合う物を提供することができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・一人ひとりに関わる強化月間は設けられなかった。 ・希望の表出が難しい方については日常の生活の中での実現可能な事がないか情報収集が足りなかった。 ・職員の熱量の違いや職員の関わりに偏りがあるように感じる。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
「～したい」の実現について、個別支援や行事等で実現できるよう支援していく。一人ひとりに関わる強化月間を設け、集めた具体的な情報を職員全員で共有し、年間で実現できるよう取り組んでいく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年10月16日(18:00~19:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 14名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	4人	9人	1人	0人	14人

前回の改善計画
・在宅生活を支えるという視点を持って本人の能力を維持できるように支援することを心掛ける。

前回の改善計画に対する取組み結果
日頃の様子から、ユニット会議などで在宅生活を支えるという視点での評価をし、必要な支援を確認しながらサポートできた。本人の能力に対する理解が職員によりばらつきがあり、支援内容の統一ができていないところがあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0人	12人	2人	0人	14人
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6人	7人	1人	0人	14人
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1人	12人	1人	0人	14人
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6人	8人	0人	0人	14人
⑤ 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5人	9人	0人	0人	14人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・現状の把握は日々の関わりや職員間で共有出来ている。
・ユニット会議やモニタリング会議を通して課題を検討し、必要な支援を確認しながら現状に合ったケアを提供し、在宅生活の継続を支援している。
・自宅での生活が続けられるよう、できるところは声かけしできない部分をサポートするよう心掛けている。
・食器洗いや洗濯物たたみ、干し方など日常生活で行えることも利用の際に取り入れている。
・体調変化があった際は速やかに適切な対応をし、家族への情報共有やその後の利用者の観察なども継続して行うことができた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・以前の生活状況の把握はし切れていない。(10個以上は出来ていない)
・その方の能力を最も活かせるような支援が不足している。
・今までできていたことができなくなり、何かあったらと危険を感じ過剰な支援になってしまうことがある。
・自宅での生活状況についてはもう少し深堀して情報を得る必要がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
日頃の関りから本人の能力を評価し、職員間でケアの内容について話し合い、共通認識を持って支援する。食器洗いや洗濯物たたみなど日常生活に必要な能力を維持できるように支援する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年 10月 16日 (18:00~19:00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	14名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	10人	2人	1人	14人

前回の改善計画	・地域で暮らしやすくするために、職員一人ひとりが地域の資源について学習する。その方に必要な地域資源を提案し結びつけるように支援していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	色々な形の地域資源があり、それを利用しているということで地域資源に関する理解度が上がった。以前から利用していた馴染みのある場所との関係性が継続できるよう支援した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1人	12人	1人	0人	14人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	4人	8人	1人	1人	14人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0人	12人	1人	1人	14人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1人	11人	1人	1人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者との関りの中で個々のこだわりや性格も含め生活スタイル等把握し、その人らしさを尊重して生活していただけるようケアできていた。 ・地域資源としては市のごみ回収や、灯油の宅配等使用している。オムツの支給についても状況を見て提案もしている。 ・市報などにも情報が載っていたりする為、意識的に見ようとしている。町内会の方との会話も積極的に行っている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・個人的に地域資源に関して学習しようとしても知識の広がりを感じられず、繋げていけなかった。 ・地域資源等を有効に利用できているかは不明な部分あり。 ・町内で行われているいきいきサロンなどの把握ができていなかった為、促す事が出来なかった。 ・事業所が直接接していない時間の利用者の生活について把握できていない部分もある。 ・以前地域資源についての研修に参加したが、現状に合う資源に当てはまる方はいなかった。また、もう少し具体的に学びたかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>今まで暮らしてきた馴染みの人や場所との関係性が継続できるように支援していく。 ご本人が暮らしている地域資源の理解を深め利用できるように支援していく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年10月24日(18:00~19:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7人	6人	1人	0人	14人

前回の改善計画	・臨機応変(柔軟)な対応について職員全員が標準的に対応できるよう、手順書の見直しと変更点の情報共有を強化していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	本人の状況や環境の変化に柔軟に対応できるように手順書の見直しを行い情報共有できた。急な利用変更についても柔軟に対応できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	5人	7人	1人	1人	14人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	8人	6人	0人	0人	14人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	9人	4人	1人	0人	14人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	8人	6人	0人	0人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・変更点があればその都度確認し、手順書に記入・修正しながら対応を統一できるようにしている。変更の連絡を受けた際のケース入力は「利用変更」と色分けしわかりやすくしている。 ・家族や本人の状況で利用時間の変更や宿泊が増える事があれば都度確認し、業務予定表、食事の変更・追加を行っている。急な要望でも管理者に相談しシフトの調整等行い対応している。 ・利用者との接点が限定的である事から、フロア内においては以前より対応できている ・ケース入力しても分からないことがある時は、業務を行う前に他職員に確認してから業務を行っている。 ・体調変化についても看護師と連携しながら対応している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源についての理解不足。ゴミ出しサポートを行っているなどの利用者の状況を把握する程度となる。 ・手順書がある事で基本的な介助は統一できているが、細かな部分で職員により差があるように感じる。 ・以前より情報共有はできていると思うがまだ抜ける時がある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ちょっとした変化についても情報を共有し、必要な支援が柔軟にできるようにする。手順書を基に細かな対応については会議で周知し統一を図る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 10月 24日 (18:00~19:00)

6. 連携・協働

メンバー 14名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	8人	0人	0人	14人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース記録の確認や変更点に関しても分かりやすくしていく事を継続する。 ・急な変更点や業務の抜けがないように、その日の業務を確認する職員を決める。
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>申し送りに関しては項目ごとに色分けしわかりやすくすることにより、業務の抜けがなくなった。但し、手が離せない時に聞いた申し送りについて後から記録しようとし、稀に抜けることがあった。</p> <p>利用者の状態変化について管理栄養士や看護師、かかりつけ医等と連携し安心して生活できるように支援している。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2人	5人	4人	3人	14人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0人	3人	6人	5人	14人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0人	7人	4人	3人	14人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	4人	7人	2人	1人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ケース記録の変更点は項目ごとに色分けしわかりやすくした。急な変更点は都度 PC 入力し、業務予定表にも記入し口頭での申し送りも併せて行った。 ・業務確認者は4月のユニット会議で明確にし、リーダー、サブリーダー、中堅職員、いずれかをフロアに配置し、指示を出し、確認ができるよう業務の調整をしている。業務に当たる上で声掛け確認してもらうことで、再確認でき安心感があつた。 ・ボランティアや学生の来訪あり。また、福祉用具の業者が来た際は案内し対応している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・送迎業務等で抜けが出てしまった。 ・シフトによってリーダー、サブリーダー、中堅職員などの指示出し職員をフロアに配置するのが難しい日もあつた。 ・業務確認職員が明確に決まっていなかったことがある。 ・自分の業務が忙しい時など全体の業務の確認や変更について他の職員への声掛けが至らないところがある。 ・他のサービス機関、自治体などの会議やイベントに参加できなかった。 ・日々のケース記録の確認をタイムリーに行えていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>日常生活を支えるため、様々な情報が共有できるよう継続する。各専門職と情報を共有し、地域の中で継続して暮らせるように支援する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年10月24日(18:00~19:00)

7. 運営

メンバー 14名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	10人	1人	0人	14人

前回の改善計画

- ・ユニット職員の意見を活発に出し合い、より良い運営を行えるように取り組む。
- ・情報共有のシステムづくりを行い全職員が情報をタイムリーに伝わるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

ユニット職員が意見を出しやすいような雰囲気作りができており、より良い運営を行えるようになってきている。業務の合間にユニットの取り決めについての説明を行い、情報共有する時間を取ったことで全職員に周知することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1人	11人	2人	0人	14人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5人	8人	1人	0人	14人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5人	7人	2人	0人	14人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	3人	7人	4人	0人	14人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ユニット内での必要な意見を出し話し合う事はユニット会議や日々の業務内で行えている。
- ・早急案件の情報共有はグループチャットを活用し情報共有している。
- ・ユニット会議に出席できない場合もあるので事前にリーダーへ意見をつたえたり、意見があれば都度リーダーへ橋渡しをして改善などに取り組んでいる。
- ・ユニット会議の決まった情報を共有するためのパソコン入力をする担当を決めたことで、情報の共有はしやすくなった。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・事業所の運営部分には携わっていないため、家族の意見・苦情などは把握していない。
- ・会議の報告書がすぐに回覧になるわけではないので、特にモニタリング会議(利用者に関わる事)の内容を全てタイムリーに伝えるのが難しい。分からない部分をより詳細に聞いたり、確認したいことをすぐに確認したりすることが出来ない。
- ・地域と協働した取り組みはできなかった。
- ・職員の意見として意思表示できていない。
- ・消極的になり意見ができない時がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

利用者、家族、職員からの意見を取り入れより良い運営を行えるように取り組む。
業務の合間に職員間で運営に関する意見交換を行い、皆が同じ目線でユニット運営を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 11月 5日 (18:00~19:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 14名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	10人	0人	0人	14人

前回の改善計画

- ・外部内部研修の年間計画を立て積極的に参加する。
- ・研修内容に関して得た知識を職員間で共有する。

前回の改善計画に対する取組み結果

外部研修は年間計画を立て最低一人1つの研修は受けることができた。
研修で得た知識をユニット内で共有することを行ったが、すべての研修を行うことはできなかった。
今後は、重要と思われる研修についてはユニット内で共有するようしていきたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	5人	9人	0人	0人	14人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4人	9人	0人	1人	14人
③	地域連絡会に参加していますか	0人	5人	4人	5人	14人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3人	9人	2人	0人	14人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・外部研修は一人ひとりに合った研修を考え年間計画に沿って参加できている。また、得た情報を周知するための仕組み(研修内容に沿って優先して共有するものをピックアップしユニット会議で報告し、不参加職員には資料を通して共有する)を決め、少しずつ実行している。
- ・リスクマネジメントの学習は個人的に以前から行っていた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・研修で参加した際に、不満が大きくなる前にと「満足度アンケート」を行った話を聞き、声にならない声を聞くためにも、自ユニットでも満足度アンケートを実行したいと思う。
- ・参加した外部研修の内容を周知するよう進めているが、まだまだ定着していない。
- ・地域連絡会には中々参加する機会がない。
- ・ヒヤリハットについて気づいた点をケース入力しているが、ヒヤリハット用紙に記入する事が少なかった。
- ・内部研修(資料配布も含め)には参加しているが、内容を報告書に記載するのみで自分のものになりきっていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

年間計画で、職員個々に合った研修を受講できるようにする。
研修に参加できなかった職員が研修資料を熟読し分からないところがあれば確認ししっかり理解する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月5日(18:00~19:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 14名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5人	9人	0人	0人	14人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・人権プライバシーに関して研修を継続し、理解度を上げていく。 ・対人援助に関しては利用者本人の理解を深め、より良い対応を行うようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>人権プライバシーに関する外部研修に参加し、その資料を基にユニット会議で話し合い理解度を上げることができた。人権に配慮した声掛けについてはまだ不十分なところがあり、思いやりのある声掛けを行えるよう全体で取り組む必要がある。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	10人	4人	0人	0人	14人
②	虐待は行われていない	9人	5人	0人	0人	14人
③	プライバシーが守られている	7人	7人	0人	0人	14人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3人	9人	0人	2人	14人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7人	7人	0人	0人	14人

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・申し送りの際、小声で話したり、記載されている名前や事項を指したり、プライバシーに配慮することを心掛けている。 ・人権擁護の研修に参加した職員の報告書をもとに、資料を参考にユニット会議で話し合うことで利用者への対応についてもう一段深く考え知識を深める事が出来た。 ・気持ちが落ち着かない利用者があった場合、その原因を考え、声掛け対応している。 ・利用者に寄り添い、利用者本人への理解度を深め、何を求めているのか考えながら対応することを心掛けている。 ・利用者から得た情報や他人に答えてはいけない事を安易に答えたりせず業務にあたっている。 	

できていない点	200字以内で、できていないこと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身に余裕がなくなると言葉がけが強くなってしまう時がある。 ・申し送りの際など、つい普通のトーンで話してしまう時もある。 ・身体拘束や虐待は自身が介護する中ではないと思うが、利用者側から考えたときに、どれだけの自由を担保したのか疑問に思う。 ・耳が聞こえにくい方に対して、トイレの声掛けなど最初は小さめの声かけから始めてはいるものの、次第に大きくなってしまふことがある。 ・悪い対応だけでなく、より良い対応がどういふものなのか、ユニット内で定期的に話し合い、統一した対応をする。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>人権プライバシーに関する研修を継続し、理解度を上げていく。 利用者個々を理解し、その方に合わせた声掛け、対応ができるように職員同士注意しあえる雰囲気を作っていく。</p>	

